

神楽の華咲く中国山地



けんみん文化祭だよ

ひろしまから発信する21世紀の文化

VOL.10

2005.7

●編集・発行●
けんみん文化祭ひろしま実行委員会事務局
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
TEL (082) 222-3774 FAX (082) 222-7133
http://www.hiroshima-kenbunsai.jp

今年「神楽」です。

近年、毎週末には県内のどこかで大会が催されているほどの人気の高まりを見せている神楽。ファンにはたまらないのではないでしょう！この神楽人気の波に乗り遅れてはならぬとまでは言いませんが、今年のけんみん文化祭ひろしまは「神楽」で幕が上がります。でも、ただの神楽の共演で収まらないのが「けんみん文化祭ひろしま」。「神楽の華咲く中国山地」のサブタイトルにもありますように中国山地を代表する県内の神楽団が一堂に会し、旧舞から今日の新しいスタイルのニューウェーブ神楽まで

で共演し、神楽の歴史を紐解きながら一日で堪能できるといふ仕掛けになっています。それでは、簡単に出演団体と演目をご紹介します。(参考文献：広島県文化百選等)



第1幕

「中世から今に息づく鎮魂の舞・荒神神楽」
出演団体は庄原市東城町の比婆荒神神楽社。

○演目「猿田彦」
比婆荒神神楽は、採物神楽の一つとして地方的特色が顕著であることから、広島県で唯一の「国の重要無形民俗文化財」に指定されています。

○演目「天岩戸」
伊賀和志神楽で最も有名な舞は昭和35年に「広島県無形民俗文化財」に指定された「鈴合わせ」。今回は舞われませんが、機会があれば見たいものです。

○演目「八岐大蛇」
中川戸神楽団は戦時中、活動を中止。戦後は新舞を取り入れ、また、いち早く特殊効果を取り入れた「スーパードラゴン」に挑戦するなど抜

○演目「紅葉狩」
横田神楽団は団員不足から一時期活動を中断。昭和39年に再結成して新舞を取り入れてからは活発な活動を展開しています。

○演目「三次どんちゃん」
その他に、開催地三次市の郷土芸能「三次どんちゃん」や神楽演目の解説なども行われ、盛りだくさんの内容です。

○演目「総合フェスティバル」
は、開場前から長蛇の列ができるほどの盛況ぶりであり、幅広い年齢層の方に楽しんでいただきました。今回は同会場での食の祭典も開催(10月1日・2日の両日)し、お腹も心も満たしていただきます。ご期待ください。

食の祭典

「実りの秋! 食欲の秋! おいしい広島大集合!!」

◆日時:平成17年10月1日(土)・2日(日) 両日とも10時~17時まで
◆場所:広島県立みよし公園(三次市四拾貫町)カルチャーセンター周辺・文化の広場

★とれたてなんでも市
★うまいもん屋台(県北バージョン・県内バージョン)
★なば市
★「野菜の苗」販売コーナー
★ミルクファーム
★ひろしま食べ歩き市

10月1日はNHKの「ふるさとの食につぼんの食」の中継もあります。

和太鼓フェスティバル

一般審査員募集

11月20日(日)に東広島市中央公民館で開催する「和太鼓フェスティバル」では、一般審査員として10人を県民の皆様の中から募集します(ただし、出演団体の関係者等は除きます)。我こそは、と思う方はぜひ応募ください。なお、応募方法等の詳細は下記までお問い合わせください。

◆募集期間 7月15日(金)~9月30日(金)
◆お問い合わせ先 けんみん文化祭東広島市実行委員会 TEL (082) 420-0977

ブンカッキー Cafe

ブンカッキー、ニューヨークデビュー!!

けんみん文化祭ひろしまのマスコットキャラクターとして、すっかりおなじみの「ブンカッキー」実は彼、世界的な人気者なんです。昨年のこのコーナーでは「全国的な人気者」と紹介しましたが、今年は何と日本を飛び出し「世界的な人気者」となっていました。昨年は東京ドームに出張し、広島県のPRに役がい、あの愛らしい笑顔で日本中のファンを魅了しまくったブンカッキー。(私、昨年の東京ドームでの彼のお仕事ぶりをしっかりと見てきました。)今年はこの3月からNYへと旅立ち、日本のポップカルチャーの第一人者としてがんばっています!!

NYでお仕事中のブンカッキー

こんなに人気者のブンカッキー。おかげさまで? グッズの入手に関する問い合わせも、県内外からたくさん寄せられているのですが、残念ながらグッズの市販予定はありません。でも手に入れるチャンスはあります! そう、昨年も実施したブンカッキーキャンペーン(グッズプレゼントキャンペーン)です!! 今年も文化祭の開催に合わせて実施する予定ですので、是非ご応募ください。(詳細は次号けんみん文化祭だよ(9月発行予定)を御覧ください。)

写真提供:ジャパン・ソサエティー